

公 表 日

令和 2年10月30日

随意契約結果及び契約の内容

| | |
|------------------------------|--|
| 業務の名称 | 令和2年度川内川水系維持管理計画等検討業務 |
| 業務概要 | 別紙のとおり |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川内川河川事務所長 安部 宏紀 薩摩川内市東大小路町20番2号 |
| 契約年月日 | 令和 2年10月30日 |
| 契約業者名 | (株)建設技術研究所 |
| 契約業者の住所 | 福岡県福岡市中央区大名2-4-12 |
| 契約金額 | 29,997,000円(税込み) |
| 予定価格 | 30,470,000円(税込み) |
| 随意契約によることとした理由 | 別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。) |
| 業務場所 | 川内川河川事務所管内 |
| 業種区分 | 土木関係建設コンサルタント業務 |
| 履行期間(自) | 令和 2年10月31日 |
| 履行期間(至) | 令和 3年 3月15日 |
| 備考 | 入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。 |

契約理由書

1. 業務件名 令和2年度川内川水系維持管理計画等検討業務
2. 履行場所 川内川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住所: 福岡市中央区大名2-4-12
会社名: 株式会社建設技術研究所 九州支社
電話: 092-714-2211
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、「川内川水系河川維持管理計画」の見直しを行うとともに、河川維持管理における管理基準の定量化、閾値の明確化、精度向上に向けた検討を行うものである。

2) 業務の内容

計画準備 一式、資料収集 一式、川内川水系河川維持管理計画の見直し 一式、八間川修繕補修計画 一式、報告書作成 一式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手(ダウンロード)し、2者から参加表明書が提出され、参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は優れた評価でありかつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容の理解度が高いこと及び「実施手順」における実施フローが工夫されていたものである。また、特定テーマの「川内川水系河川維持管理計画の改定にあたっての留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が的確かつ理論的に整理され、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
川内川河川事務所 管理課長